

平成 18 年度

事 業 報 告

社会福祉法人 名東福祉会

目 次

名東福祉会のミッション	
事業機構	
利用者の状況	
デイケア事業	
ナイトケア事業	
地域生活支援事業	
各種委員会等	
地域交流事業	
決算報告	
施設・事業所一覧	

名東福祉会のミッション

● 名東福祉会のミッション（使命）

名東福祉会の使命は、東部名古屋地域の障害者ケアと、障害者ケアに関するあらゆるサービスを提供することを目的とする。

名東福祉会は障害者のクオリティオブライフを高めるため、名古屋市東部地域において、障害者のための継続的ケアを提供し、利用者の自由と自立の実現をめざす。

● 福祉サービスの基本的考え方

（1）健康

- ・利用者のクオリティオブライフを最優先した福祉サービスを提供する。
- ・利用者が可能な限り健康を維持・増進することができるように支援する。
- ・提供サービスの質を向上させるためにリスクマネジメントを行う。

（2）自己決定の支援

- ・地域に福祉団体と人の支援ネットワークを形成し、多様なプログラムによって利用者の生活を支える。
- ・生活スタイルを自ら選択することができるように支援する。
- ・利用者とその家族が設定した目標の実現に向けて多角的な支援を行う。
- ・利用者のニーズにあったプログラムの選択が可能なように柔軟な対応を実現する。

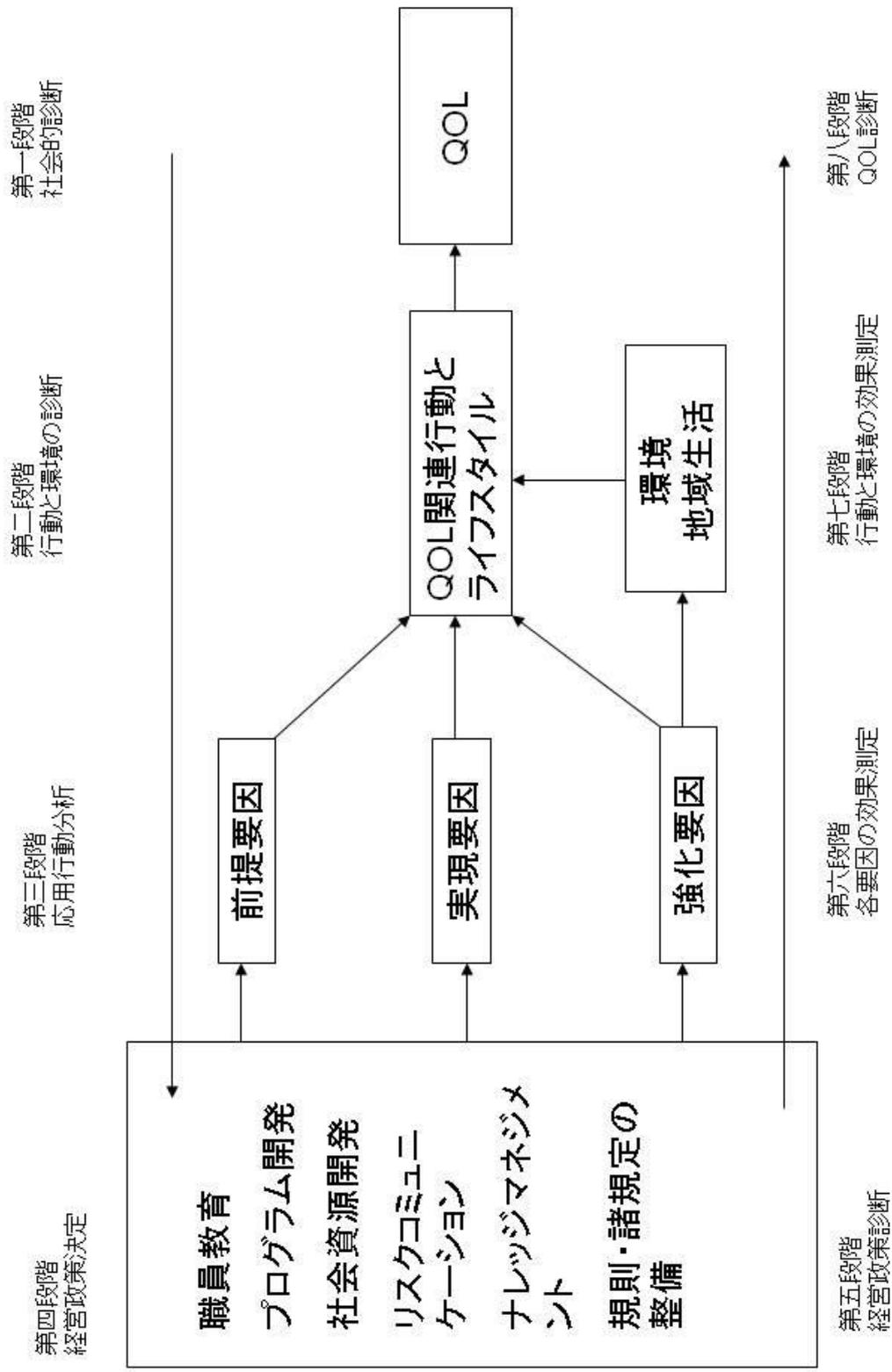
（3）個別支援計画にもとづいた処遇

- ・施設の運営方針と利用者のニーズに基づき、ニーズを満たすために必要な個別支援計画を立案する。
- ・個別支援計画の立案にあたっては、できる限り利用者本人・利用者の家族または親権者・障害者福祉に関わる専門家とともにこれを作成し、提供されるべき個別支援計画決定し、利用者、家族、職員、地域社会相互の満足を実現する。
- ・個別支援計画によって設定された目標の達成度を常にチェックする。
- ・関係機関が利用者のニーズと支援技法に関する情報を共有し、支援内容を継続的に改善する。

（4）提供サービスの妥当性の確保

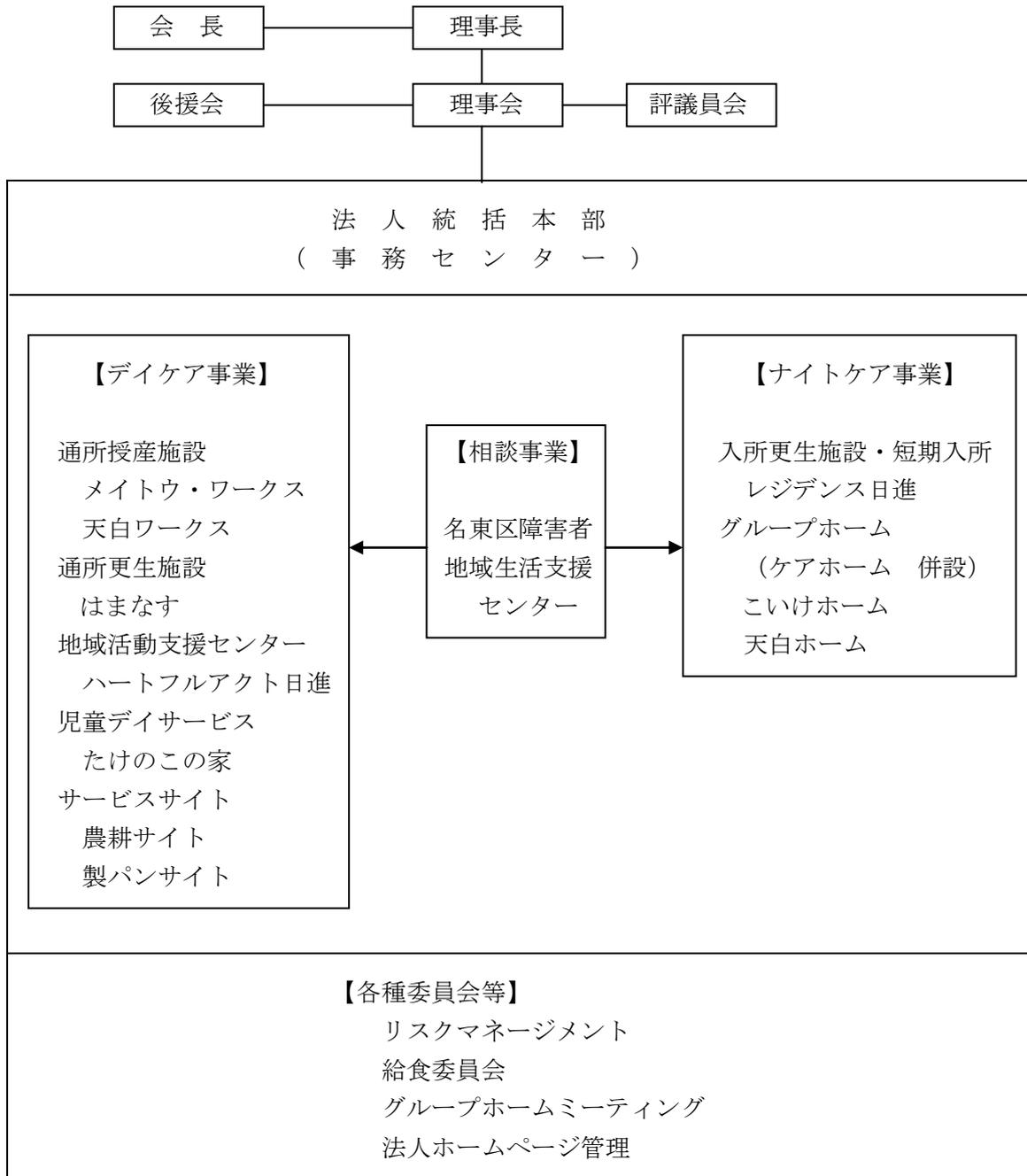
- ・利用者の権利を護るため自己チェック体制を整える。
- ・利用者とその家族がいつでも正当な権利を行使することができるようにサービスのあり方を常に見直す。
- ・情報公開に努める。

利用者のクオリティ・オブ・ライフの改善モデル



事業機構

1. 機構図



2. 職員構成（平成19年4月1日現在・計81名）

	理事長	会 長	本部長	事務員	所 長	支援員等 相談員		看護師	栄養士	医 師
						男	女			
法人全体	1	1	1	3	6	25	41	1	1	1
メイトウ・ワークス					1	3	6			(1)
天白ワークス					1	3	6			(1)
はまなす					1	3	4			(1)
レジデンス日進					1	14	20	1	1	(1)
こいけホーム					(1)		1			(1)
天白ホーム					(1)	1				(1)
たけのこの家					1	1	2			
地域生活支援C					1		2			

* レジデンス日進の支援員等および栄養士は、常勤換算前的人数

* 各サービスサイトには、施設支援員が出向

* () は兼務

利用者の状況

(平成 19 年 4 月 1 日 現在)

名東福祉会は現在、200 名以上の利用者の方々に諸事業の利用契約をいただいています。また、地域生活支援センターを設置し、東部名古屋地域の障害をもった方々の生活を支えています。

平成 19 年度には、児童行動療育センター（児童デイサービス）「たけのこの家」がオープンし、障害をもった児童へのサービス提供も開始します。

1. 年齢分布 * () は重複利用者の再掲

	～19歳		20歳～		25歳～		30歳～		40歳～		50歳～		計
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	
メイトウ・ワークス	1	1	3	5	2	3	12	7	5	3		1	43
天白ワークス	3	1	8	3	2		5	5	6	1	1	2	37
はまなす	1		4	3	2	2	5	4	4				25
レジデンス日進			3	2	2	3	12	6	4	4	1	3	40
こいけホーム								3					3
天白ホーム									5				5
法人全体	5	2	18	13	8	8	34	25	24	8	2	6	153
	7		31		16		59(1)		32(5)		8		(6)

2. 居住(出身)地分布 * () は重複利用者の再掲

	名古屋市													
	名東	千種	守山	天白	昭和	瑞穂	中川	中村	北	東	南	緑	港	計
メイトウ・ワークス	28	3	3		1		1			1				37
天白ワークス	3			19	2		1				2	9		36
はまなす	14	2	1	5	2	1								25
レジデンス日進	4	1	2	8		2	1	1			1	3	1	24
こいけホーム	1				1							1		3
天白ホーム	1		1	3										5
法人全体	51	6	7	35	6	3	3	1		1	3	13	1	130
	(2)		(1)	(3)										(6)

	名古屋市外											計
	日進	瀬戸	尾張旭	春日井	三好	一宮	江南	愛西	北名古屋	稲沢		
メイトウ・ワークス	4		1		1							6
天白ワークス	1											1
はまなす												0
レジデンス日進	6	2	1	1		1	2	1	1	1		16
こいけホーム												0
天白ホーム												0
法人全体	11	2	2	1	1	1	2	1	1	1		23

3. 障害の程度（支援費制度程度区分）

	A		B		C		計
	男	女	男	女	男	女	
メイトウ・ワークス	13	11	8	8	2	1	43
天白ワークス	12	10	13	2			37
はまなす	15	8	1	1			25
レジデンス日進	18	18	3		1		40
法人全体	59	47	24	11	3	1	145
	106		35		4		

* 参考

障害程度区分認定結果（平均区分 3.46）

	未判定		1		2		3		4		5		6		計
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	
各ホーム				2	2	1	1		2						8
法人全体	27	22	2	4	10	8	15	9	22	9	6	6	3	4	147
	49		6		18		24		31		12		7		147

4. 障害の種別

* () は重複利用者の再掲

	自閉症		ダウン症		脳性麻痺		知的障害		計
	男	女	男	女	男	女	男	女	
メイトウ・ワークス	6	3	2	5	1		14	12	43
天白ワークス	12	2	6	1			7	9	37
はまなす	9	1	4	2		2	3	4	25
レジデンス日進	13	8		1	1	2	8	7	40
こいけホーム				1				2	3
天白ホーム			1				4		5
法人全体	40	14	13	10	2	4	36	34	153
	54		23(1)		6		70(5)		(6)

	重複障害										計
	肢体		視覚		聴覚		内部		精神		
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	
メイトウ・ワークス	2	2				1	1	2	2	1	11
天白ワークス	1	1	1		1						4
はまなす	1	3		1			1	2			8
レジデンス日進	2	2		1		1		1	3	1	11
こいけホーム											0
天白ホーム	1		1		1				1		4
法人全体	7	8	2	2	2	2	2	5	6	2	38
	15(1)		4(1)		4(1)		7		8(1)		(4)

5. 利用期間 * () は重複利用者の再掲

	～1年		1年～		3年～		5年～		10年～		15年～		計
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	
メイトウ・ワークス	3	4	5	4	3	3	2	2	4	1	6	6	43
天白ワークス	5		4	1	4	4	5	3		1	7	3	37
はまなす	1		1	4	1	1	3	2	10	2			25
レジデンス日進		1	4	3	18	14							40
こいけホーム						2		1					3
天白ホーム	1				1		3						5
法人全体	10	5	14	12	27	24	13	8	14	4	13	9	153
	15(1)		26		51(2)		21(3)		18		22		(6)

6. 月別平均利用者数 (平成 18 年度)

	定員	4月	5月	6月	7月	8月	9月
メイトウ・ワークス	37	35.6	36.5	35.0	35.3	31.7	34.5
天白ワークス	35	32.8	31.8	32.7	31.6	32.1	34.2
はまなす	30	23.2	23.1	23.0	23.7	22.6	23.3
レジデンス日進	40	34.3	34.5	37.1	37.2	37.4	38.3
こいけホーム	4	3.0	3.6	3.7	3.6	3.7	3.5
天白ホーム	4(5)	3.1	4.0	4.0	4.0	3.9	3.7

10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均	
34.5	31.2	29.0	30.8	31.6	34.6	33.3	メイトウ・ワークス
32.5	32.1	32.2	31.7	31.4	32.4	32.3	天白ワークス
23.1	23.1	23.0	23.5	22.3	22.2	23.0	はまなす
38.7	38.4	36.4	36.0	38.7	39.0	37.1	レジデンス日進
3.8	3.3	3.4	3.6	3.7	3.6	3.5	こいけホーム
4.8	5.0	4.5	5.0	5.0	5.0	4.3	天白ホーム

* はまなすは、地域との話し合いで、25名程度の利用を目安としている

* グループホームは、算出上、週末帰省日は除外

* 天白ホームは、9月より定員を5名に増員

7. 通所施設時間延長サービス利用者数（16：00～17：00・平成18年度）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
メイトウ・ワークス						
天白ワークス						
はまなす						
法人全体	0	0	0	0	0	0

10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	
1	1	1			1	4	メイトウ・ワークス
	1	1	2		2	6	天白ワークス
		2		1	1	4	はまなす
1	2	4	2	1	4	14	法人全体

8. 短期入所事業延利用者数（平成18年度）

	定員	4月	5月	6月	7月	8月	9月
メイトウ・ワークス	3	20	17	20	19	20	19
天白ワークス	3						
はまなす	2						
レジデンス日進	4(7)	139	126	115	150	144	148

10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	
						115	メイトウ・ワークス
						0	天白ワークス
						0	はまなす
137	101	118	105	124	134	1541	レジデンス日進

* 制度変更により日中のみの利用は、10月以降、別事業に移行。

* レジデンス日進は、9月より定員を7名に増員

デイケア事業

名東福祉会は、昭和 57 年にメイトウ・ワークスを開所して以来、質の高い日中プログラムの開発・展開を積み重ねてきました。障害をもった方々に充実したプログラムを選択的に利用していただけるよう、今後も事業展開いたします。特に、障害者自立支援法による新事業体系への移行に向けた、就労系事業の展開が急務となっています。

法人資源の相互利用を図り、利用者の選択肢の拡大、特に生活施設の利用者の暮らしが限られたものにならないよう留意しています。

1. 作業プログラム

(1) プログラムメニュー

● 陶芸作業（メイトウ・ワークス／天白ワークス）

はし置き、一輪挿し、フリーカップ、お皿など生活を彩る陶器を製作。土に触れる段階から製作、絵付け、釉掛け、焼成後の仕上げと工程の多いプログラムのため、多くの利用者が参加しやすい。単純で分かりやすい作業内容の提示を心掛けている。

毎年、フロール展に作品を出展。開催中に、見学に出かける。

10月からは、新事業体系移行に向けて、作業を事業部化している。

● クッキー作業（天白ワークス）

生地作りから焼成・袋詰めまでの全工程を1日で終わることができ、利用者にとって分かりやすいプログラム。各種団体から注文をいただいている。

● ビーズ作業（はまなす）

携帯ストラップ、グラスコード、キーホルダーなどのオリジナル製品を製作し、各地の福祉の店やバザーで販売。作業工程の構造化を図っている。

● 縫製作業（メイトウ・ワークス）

各種ぬいぐるみを製作。各地の保育所や子育てサークルから注文を受ける。作業工程が幅広いため選択性が高く、多くの利用者が参加しやすい。また、後期は日本セルフセンターからの受注を受け、全種類増産体制に入った。

● 下請作業（メイトウ・ワークス／天白ワークス／はまなす／レジデンス日進）

作業内容の明確な、利用者に分かりやすいプログラムとして全施設で提供。積極的に環境の構造化を行っている。自動車部品や水道管パーツから、インスタント飲料のセッティングまで種目は様々で、各施設複数種目を提供することで選択性に留意している。

● 農耕サイト

日進市浅田町内の法人所有地で実施。屋外での活動的な作業プログラムであることが特徴で、レジデンス利用者を中心に野菜の栽培・販売を行っている。

敷地内に生ゴミ処理機1台を設置し、食事提供で発生する残飯等をその日のうちに処理機にかけ、堆肥を生成して活用している。

● 木工サイト

農耕サイト敷地内の作業棟で実施。鍋敷や花台といった小物製品から隙間家具の受注製作まで行う。サイトでの成型を経て、メイトウ・ワークスで仕上げ・販売を担当。作業工程の確立を目指したが、9月末日をもって閉鎖。

● 製パンサイト

余分な添加物を一切加えず、国産小麦と菜種油を原料にしたこだわりのパンを製造。「安心でおいしい」パンとして、保育園や老人ホームでの給食メニューとしても好評。

(2) 年間売上状況 (単位：円)

	メイトウ・ワークス	天白ワークス	はまなす	レジデンス日進	法人全体
陶芸	644,857	1,129,799			1,774,656
クッキー		1,388,390			1,388,390
ビーズ	19,904		10,300		30,204
縫製	1,413,707				1,413,707
製パン		3,492,036			3,492,036
農耕				9,100	9,100
木工	65,346				65,346
下請け	691,571	1,705,931	322,170	591,443	3,311,115
Kタオル	90,000				90,000
計	2,925,385	7,716,156	332,470	600,543	11,574,554

* 参考：平成17年度

計	2,925,997	6,083,599	414,122	372,697	9,796,415
---	-----------	-----------	---------	---------	-----------

(3) 利用者給与支給状況 (単位：円)

	支給形態	年間総額	平均月額/人
メイトウ・ワークス	150円/日の基本給に出来高払を加算。最も多い方で8,750円/月。夏・冬季賞与あり。	1,693,070	3,498
天白ワークス	100円/日と70円/時の併用。最も多い方で7,700円/月。夏・冬季賞与あり。	1,375,700	3,331
はまなす	その月の通所率が50%以上の方を対象に1,000円/月支給。夏・冬季賞与あり。	317,000	1,057
レジデンス日進	作業収入を、半年毎に能力別に支給。最も多い方で14,400円/半年。	544,400	567

2. レクリエーションプログラム・イベント

- 散歩プログラム（メイトウ・ワークス／天白ワークス／はまなす／レジデンス日進）
小グループでのリフレッシュ活動として、作業プログラムと並行して日常的に実施。公園での散策やドライブ、文化施設の利用など参加メンバーの好みに応じて企画。地域の方々との交流の機会ともなっている。
- バスハイク（メイトウ・ワークス／天白ワークス／はまなす／レジデンス日進）
全員参加の屋外活動。バスによる移動も、利用者にとって大きな楽しみとなっている。メイトウは、「日帰り旅行」との位置づけで実施。天白ワークス・はまなす・レジデンス日進はグループに分けて実施した。

	メイトウ・ワークス		天白ワークス		はまなす		レジデンス日進	
	日	行先	日	行先	日	行先	日	行先
4月					21	名古屋港水族館		
					28	鞍ヶ池公園		
5月			17	名古屋港水族館				
			24	木下サーカス				
6月							14	鞍ヶ池公園
							21	
10月			18	日本モンキーパーク	20	愛地球博記念公園		
			25		27		豊橋のんほいパーク	
11月			21	日本モンキーパーク			8	豊橋のんほいパーク
							15	
							21	
2月	16	南知多「花乃丸」にて会食・入浴 南知多ビーチランド						
3月					20	愛地球博記念公園		
					27	豊橋のんほいパーク		
計		1回/人		1~2回/人		3回/人		1~2回/人

● 外部団体等の公演・季節行事（メイトウ・ワークス／はまなす）

地域サークル等の公演を実施。事前打ち合わせを通して、利用者参加型の内容を目指した。季節行事も併せて行った。

<メイトウ・ワークス>

企画・団体名	実施日	内 容
花見会	4/7	施設グラウンドにて利用者による出し物
めいとう朗読グループ	9/16・1/12	絵本、紙芝居、歌、パネルシアターなど
ポケットの会	12/22	クリスマス会に来所・歌、読み聞かせなど
天白りばーばんど	3/16	オリジナル曲、リクエスト曲の演奏

<はまなす>

企 画	実施日	内 容
音 楽	月 2 回	歌・演奏・ダンス
七夕会	7/7	夏のお楽しみ会。利用者と昼食でお好み焼きを作る。
クリスマスパーティー	12/22	利用者の忘年会行事として実施。日頃ご支援いただいているボランティアの皆様を招いて、クリスマスパーティーを行った。

● 家族交流会（天白ワークス／はまなす）

利用者・家族・ボランティア・職員の交流を目的として実施。

6月16日（金）はまなす : 三谷温泉、ラグーナ蒲郡

3月7日（水）天白ワークス：ピッコロボスコにて会食・宴会

● ソフトボール大会（天白ワークス／はまなす／レジデンス日進）

5月11日（金）名障連・名古屋市の主催する大会に参加（小幡緑地公園）予定であったが、雨天の為、中止になる。

● フットベースボール大会（メイトウ・ワークス／はまなす）

11月8日（水）県福祉協会および名古屋市の主催する大会に参加（鶴舞公園陸上競技場）。競技を通して施設間・利用者間の交流を図ることができた。

● 還暦祝い・成人式（メイトウ・ワークス／天白ワークス／はまなす／レジデンス日進）

該当者に合わせて、お祝い会を各施設で行っている。

<還暦祝い>

11月25日（土）レジデンス日進：3名

<成人式>

1月12日（金）メイトウ・ワークス：1名

1月16日（火）はまなす : 3名

1月19日（金）天白ワークス : 7名

1月27日（土）レジデンス日進 : 1名

● 自動車図書館（メイトウ・ワークス）

西自動車図書館の巡回を利用。メイトウ・ワークスが地域の駐車ポイントになっており、地域交流の機会ともなっている。年8回実施。

ナイトケア事業

現在、名東福祉会はナイトケア事業として、入所更生施設 1 ケ所とグループホーム 2 ケ所を運営しています。活動的な日中プログラムとは対照的に、落ち着いた生活環境の設定に重点を置いています。

入所施設は 10 名前後のユニット単位で支援が行われ、利用者ひとりひとりの生活リズムを大切にしています。また、ユニット、ホームとも男女別としています。

平成 20 年度には、ケアホームの新設を目指しています。

1. 生活モデル

利用者ひとりひとりの生活リズムの安定を図るため、生活モデルを設定した。入所施設においても毎日、個別の入浴機会を設けて快適さを求めた。

時間	レジデンス日進	こいけホーム	天白ホーム
6:00	起床・朝食	起床・朝食 出勤・通所	起床・朝食 通所
9:00	日中活動へ出発 (法人施設・ サービスサイト等)		
12:00	帰着・昼食 日中活動へ出発		
15:00	帰着	帰着	帰着
18:00	入浴 夕食 入浴・洗濯	夕食 入浴・洗濯	入浴・洗濯 夕食 入浴・洗濯
22:00	就寝	就寝	就寝

2. 各種支援サービス等

(1) ユニット単位の支援

4名(グループホーム)～10名(レジデンス日進)のグループ単位での生活支援を行うことで、個別ニーズの充足に留意した。

(2) 金銭等の管理

レジデンス日進利用者の財産管理について、「施設利用者の年金等取扱要領」に従い、適正・確実を旨として行った。グループホームについては、個別出納帳により職員が管理し、併せて所長・家族の収支確認を行った。

(3) 健康管理

医療機関への通院に配慮し、必要に応じて個別に付き添い支援を行った。

(4) その他

七夕、クリスマス会などの季節行事や利用者の誕生日会を各事業所にて行った。レジデンス日進では、たけのこまつり(4/29)、成人祝い(1/27)も実施。

地域生活支援事業

名東福祉会は発足当初から、地域に在住する障害をもった方々の支援を視野に入れた活動を行ってきました。平成 14 年度に名古屋市の委託を受けて設置された「名東区障害者地域生活支援センター」は、スタッフが 1 名から 3 名に増員され、事業拡大されました。

障害者自立支援法による制度改革の動きに合わせて、相談事業やコーディネート機能の重要性はますます高まります。

支援センターでは、相談に訪れる方々の様々なニーズをサービスに結びつけるばかりでなく、地域社会の資源開発、生活支援ネットワークの確立を目指します。

1. 新規相談者の状況

種別として身体障害の相談が最も多くなりました。特に50代以上の方のケースが多いことが特徴的です。主な相談者である保護者・障害者本人以外に、居宅介護事業者や福祉事務所からの支援依頼が増えており、発達障害者支援センター、児童相談所、医療関係者、高齢者ケアマネから相談を受けることもあります。

相談内容としては、ホームヘルプをはじめとする福祉サービスの利用方法や利用にあたっての照会、円滑導入にかかる支援、利用に際してのクレームへの対応が主ですが、ニーズに合致した社会資源やサービスの情報収集も重要な業務となっています。児童期の相談に比べ、成人期は継続的支援の必要度が高まり、支援センターだけではなく、福祉事務所や関連事業者との連携が不可欠になります。また、制度改革に関わる問合せや認定調査により新たな相談に結びついたケースが目立ちました。

(1) 居所

	名古屋市内					不詳	計
	名東区	守山区	昭和区	その他	計		
人数	31	1	1	0	33	8	41

(2) 障害種別

	児童(幼児～学齢期)				成人					不詳	計
	～5歳	～11歳	～15歳	～19歳	～29歳	～39歳	～49歳	～59歳	60歳以上		
知的障害	1	2		1	2	3	1	2		2	14
身体障害						1	1	6	6	3	17
精神障害										2	2
重複障害	知的・身体	1								1	2
	知的・精神						1	1			2
	身体・精神					1					1
手帳なし・不詳	1									2	3
小計	3	2	0	1	3	5	3	8	6	10	41
合計	6				25					10	41

(3) 性別・年齢

	児童(幼児～学齢期)				成人					不詳	計
	～5歳	～11歳	～15歳	～19歳	～29歳	～39歳	～49歳	～59歳	60歳以上		
男	1	2		1		2	2	6	3	5	22
女	2				3	3	1	2	3	3	17
不詳										2	2
小計	3	2	0	1	3	5	3	8	6	10	41

(4)相談内容(複数カウント)

	児童(幼児～学齢期)				成人					不詳	計	
	～5歳	～11歳	～15歳	～19歳	～29歳	～39歳	～49歳	～59歳	60歳以上			
居宅介護(注 ¹)	3	2	0	3	2	1	2	5	8	4	30	
生活 基盤 の 安定	生活保護							2	1		3	
	進路									1	1	
	就労				1	1	2				2	6
	日中活動				1	1	3	1	2		1	9
	余暇活動				1	1			1		1	4
	家族支援	2	1		1	1	3	2	4	1	4	19
	介護								2	1	1	4
	医療機関				1	2			4	2		9
	権利擁護					1	1			1		3
	住居				1	2			2	1	1	7
	療育	1										1
	地域移行										1	1
その他		2		1	1	1		4		5	14	
困難ケース					2	1					3	
その他(注 ²)									1		1	
計	9	7	0	13	16	13	7	31	24	25	145	

(注¹)居宅介護 居宅サービス全般。訪問介護利用、デイサービス、短期入所

(注²)その他 ホームヘルプを含まない生活全般の支援、障害者手帳のない方への生活相談、配食サービス等

2. 相談受付の状況(新規相談も含む)

相談については、訪問相談470件、外来相談214件、実相談者数82名という状況でした。当事者のみならず家族支援も含めて実施することが多々ありました。

多機関が関わって支援することもまれではなく、正式な調整会議だけでなく、頻繁かつ緊密な他機関調整が必要となっています。また、初回面談から状況が大きく変わり、支援体制を見直すケース、支援の膠着化から新たな展開を模索するケースも出てきており、より専門的な機関との連携や新たな資源開発が急務となっています。

(1)障害種別

	児童(幼児～学齢期)				成人					不詳	計
	～5歳	～11歳	～15歳	～19歳	～29歳	～39歳	～49歳	～59歳	60歳以上		
知的障害	2	6	2	2	7	7	3	3	3	2	37
身体障害						3	3	9	8	3	26
精神障害										2	2
重複 障害	知的・身体	1	1	2	2	2	1			1	10
	知的・精神						2	1			3
	身体・精神					1					1
手帳なし・不詳	1									2	3
小計	4	7	4	4	10	13	7	12	11	10	82
合計	19				53					10	82

(2)性別・年齢

	児童(幼児～学齢期)				成人					不詳	計
	～5歳	～11歳	～15歳	～19歳	～29歳	～39歳	～49歳	～59歳	60歳以上		
男	2	4	4	3	2	6	6	9	7	5	48
女	2	3		1	8	7	1	3	4	3	32
不詳										2	2
小計	4	7	4	4	10	13	7	12	11	10	82

(3)相談内容(複数カウント)

		児童(幼児～学齢期)				成人					不詳	計
		～5歳	～11歳	～15歳	～19歳	～29歳	～39歳	～49歳	～59歳	60歳以上		
居宅介護	ヘルパー	3	3	2	2	4	2	4	7	9	3	39
	デイ	1	5	2	2	1	3	2		2		18
	ショート		1	1	1		1	1	1			6
生活基盤の安定	生活保護							1	4	3	1	9
	進路		1		1							2
	就労				3	1	3	2				9
	日中活動(注 ¹)				2	4	4	2	2	1	1	16
	余暇活動		1		1	2			2		1	7
	家族支援	2	4	2	3	4	8	4	6	4	1	38
	介護								1			1
	医療機関				1	2	2	1	7	6	1	20
	権利擁護					1	1	1		1		4
	住居				2	3	2	1	2	2	1	13
	療育	1	1									2
	地域移行							1				1
その他		2	2	1	1	2	2	4	3	3	20	
困難ケース		1				2	2		1		6	
その他(注 ²)									1		1	
計	7	19	9	19	25	31	21	37	32	12	212	

(注¹)日中活動先 高等学校卒業後の進路相談を始め、就学児童の長期休暇中の生活支援も含む(注²)その他 ホームヘルプを含まない生活全般の支援、障害者手帳のない方への生活相談、配食サービス等

(4)相談業務実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
訪問	13	20	25	26	42	56	56	47	51	45	53	36	470
外来	19	13	7	19	8	30	20	14	18	18	28	20	214
研修会等			1	1		1	1	1	1			1	7
調整会議	1	2	2	3	4	1	4		6	2	2	3	30
認定調査	58	64	43	34	22	10	12	7	7	6	20		283

3. 関係機関との連絡調整会議

会議名	実施日	構成メンバー	内容
名古屋市障害者地域生活支援センター連絡会	5/25、8/4、9/28、12/13、2/13	名古屋市(障害福祉課・障害施設課)、16区支援センター	障害程度区分認定調査、支援センター事業の運営方針等、自立支援協議会、サービス利用計画、自立支援法関連、再審査など
支援センター東ブロック連絡会	6/29、9/26、1/19	千種区・中区・昭和区・名東区の支援センター 名古屋市(障害施設課)	認定調査の進捗状況、程度区分不服請求、支給決定基準の内容、成年後見制度など
名東区障害者自立支援協議会運営準備会・設立会	準備会 1/17、2/7、2/28、3/16 事業者連絡会・設立会 3/26	名東区福祉課、居宅支援事業者、施設、関係団体、身体・知的障害者相談員、支援センター	組織イメージ、構成メンバー・運営のあり方、テーマ、スケジュール、事業者連絡会との関係、個人情報、会則検討、事業計画、部会説明
平成18年度主任中堅職員研修	6/14、7/19、9/20、10/12、11/14、12/6	名古屋市、名古屋市知的障害者福祉施設連絡協議会共催	障害者ケアマネジメント研修(アドバイザー)全体研修:4回(内講義・演習、2回含む)グループ研修:2回(ケアプラン2事例作成)
名古屋市事業者説明会	9/8	名古屋市(障害者支援課) 各種指定事業者	10月からの事業内容、区分認定、受給者証
愛知県集団指導	2/20	愛知県(障害者福祉課) 各種指定事業者	自立支援法円滑運営改善案
愛知県精神保健福祉士協会シンポジウム	3/10	愛知県精神保健福祉士協会、当事者、一般、行政、専門職	精神障害者支援、自立支援法(シンポジスト参加)
名東区手をつなぐ育成会例会・懇談会	4/25、1/29	名東区手をつなぐ育成会、名東区福祉課、支援センター	総会での支援センター紹介、区長要望懇談会
研修会・学習会	5/26、6/6、6/19、9/5、9/17、9/29、10/25、11/24	双葉、杜の家家族会、メイトウ家族会、はまなす家族会、花、名東区地域包括支援センター連絡会	自立支援法制度説明

4. 職員研修

研修名	実施日	主催	内容
平成18年度障害者ケアマネジメント従事者養成研修	4/19～21、4/27～28	愛知県、愛知県知的障害者福祉協会、愛知県社会福祉協議会	障害者福祉の動向、ケアマネジメント概論、権利擁護と苦情解決、生活ニーズ、就労支援相談面接、ケア計画作成演習、社会資源活用演習、PCPなど
平成18年度障害者地域生活支援技術研修会	9/26～29	全国身体障害者総合福祉センター(戸山サンライズ)	障害者自立支援法と地域生活支援、行動援護、地域移行など

各種委員会等

名東福祉会には、施設横断的な委員会が機能別に設けられており、利用者に提供するサービスの質の向上に努めています。新事業体系移行を控え、法人各事業が連携したサービス提供をするため、法人単位の情報共有は必須と考えています。

また、法人ホームページが開設され、今後の情報発信のあり方も転機を迎えています。

1. リスクマネジメント

(1) 目的

利用者個々のニーズに最大限応える上で、サービス提供上のリスク管理は必要不可欠であるという認識に立ち、法人単位でのリスクマネジメントを実施。リスクマネージャーを1名設置している。

リスクマネージャーは全職員から「ヒヤリ・ハット・事故報告書」を収集し、支援現場でのリスクの把握・法人全体での共有・分析とリスク軽減に努めている。単に事故防止に留まらず、安全で質の高いサービス提供を目指した職員教育や、苦情解決・サービス評価などの取り組みと連動したシステム作りが必要である。

(2) 構成

リスクマネージャー 1名

(3) 活動報告

平成18年度中に提出された「ヒヤリ・ハット・事故報告書」の件数は、以下の通り。

報告区分	ヒヤリ	ハット	事故	苦情	その他	合計
		改善提案				
報告数	139	7	258	15	1	420

施設におけるリスクマネジメントは、単なる「事故への対処」だけでなく、事故を起こさないための予防的対応・体制作りが重要である。利用者の安全で質の高い生活を保障するために、支援者の業務に潜むリスクを予測しなければならない。リスクを回避するために、より多くの報告によるデータ収集が不可欠でもあり、今後も一層、法人職員全体の意識化を図らねばならない。

● 報告件数

施設名	レジデンス	メイトウ	天白	はまなす
報告数	181	50	42	105

デイサービス	作業サイト	その他	合計(件)
25	8	9	420

* 作業サイト（上ノ山軽作業・製パン作業）

* その他（事務センター・グループホーム）

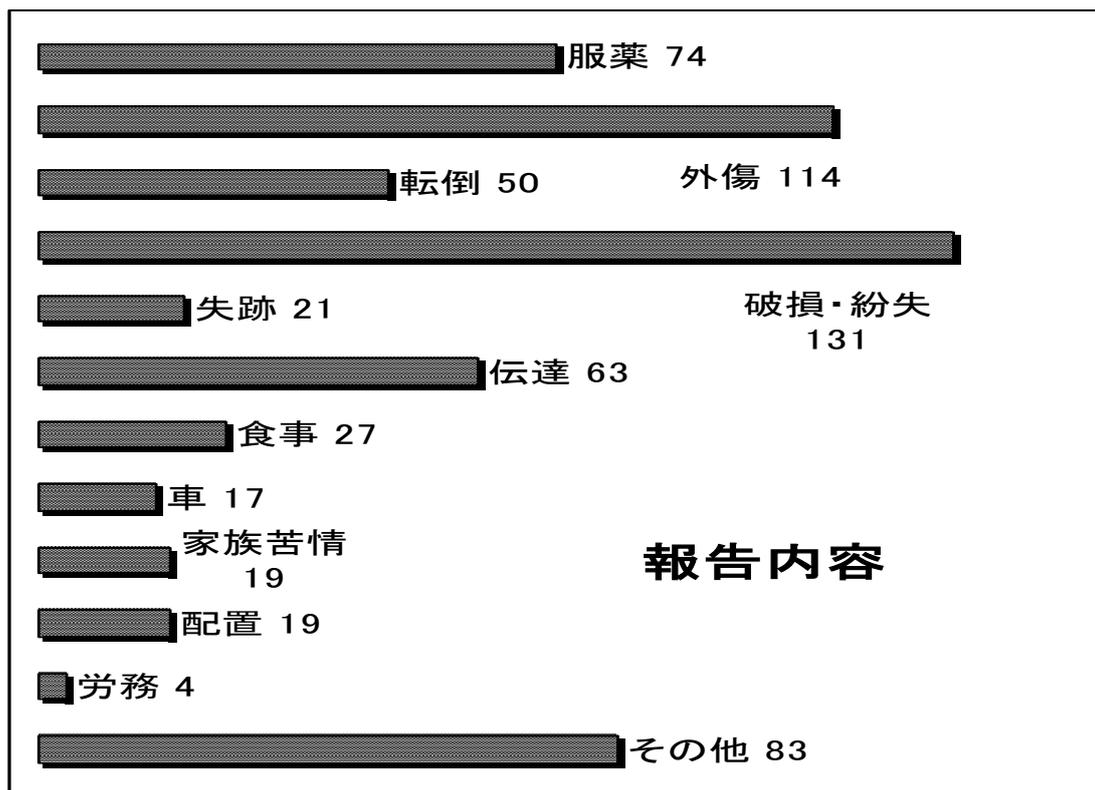
● 報告内容

報告を内容別に見ると、以下の内訳となる。

「破損・紛失」「ケガ（外傷・転倒）」「服薬」が突出しているのは、事故報告として当

然の結果と思われるが、環境整備や利用者情報の共有により防ぐことができるケースも少なくないことが、報告書から伺うことができる。「強度行動障害の問題行動」が限られた利用者中心となっており、重点課題になっている。

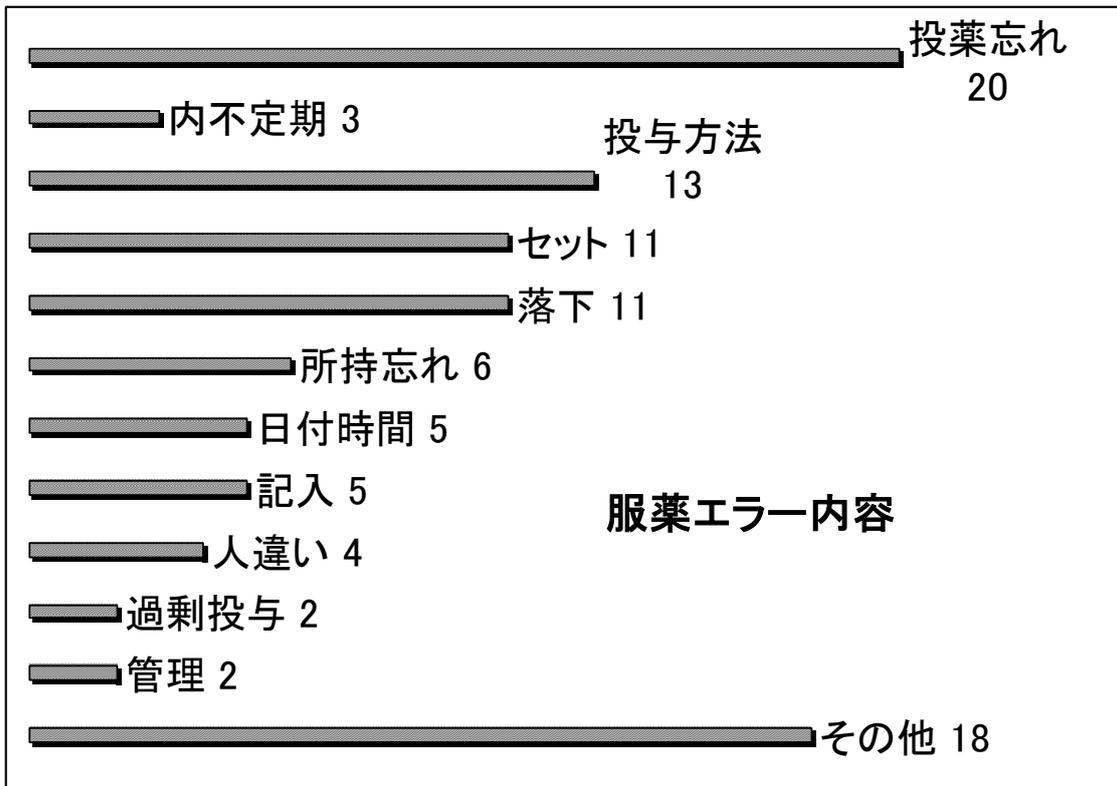
情報伝達報告に増加傾向が見られる。結果として、服薬・紛失・失跡といったエラー報告の増加につながっている。職員間の引継ぎやハウレンソウ（報告・連絡・相談）の徹底で、安全で質の高い支援提供の継続を図らなければいけない。



強度行動障害等の問題行動が起因すると思われる報告（重複報告）			
	他者への攻撃	自傷	破損
合計	57	93	21

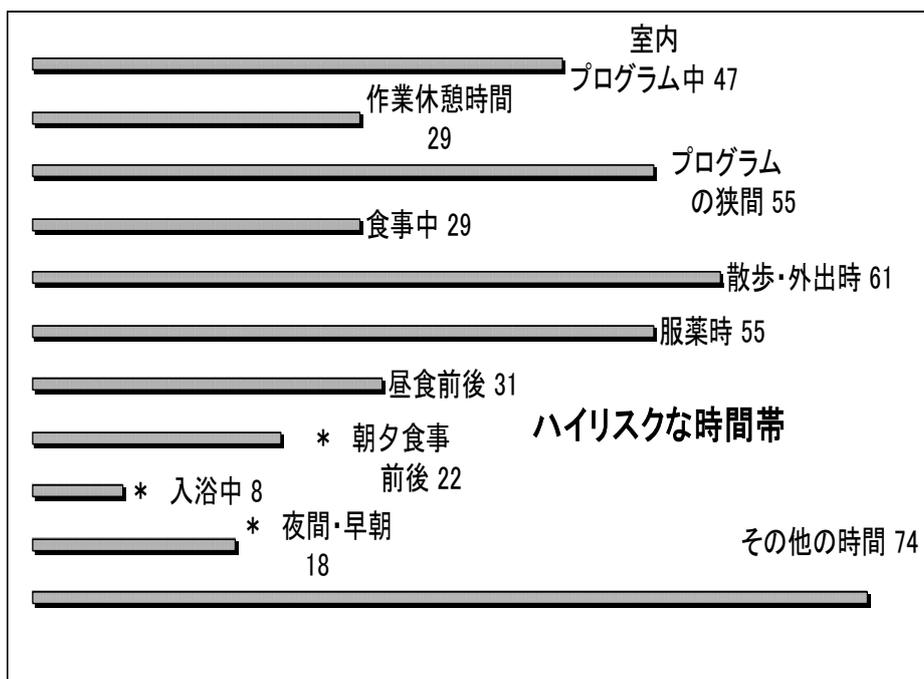
また、「移動・車」も要注意領域と言える。各施設、日常的に外出プログラムを提供しているが、車の大型化が進み運転技術が必要になってきた。運転上の小さなハプニングは予想以上に利用者の不安を招くばかりか、人命に関わる事故に発展する可能性もある。

服薬支援は施設サービスの主要業務のひとつであり、健康に直接関わるデリケートな領域である。繰り返しチェックしていけば、服薬エラーは減少するはずであるが、報告数は前年度より増えている。これは、約半数に及ぶ回避されたエラー報告も含めてあるためだが、投薬忘れ等は相変わらず起きており、システムの検証も進められている。いずれにしてもマニュアルに沿った服薬チェックの繰り返しが肝要と思われる。



● ハイリスクな時間帯

時間帯という視点から見ると、ヒヤリや事故は「散歩・外出時」「服薬」「自由時間（休憩やプログラムの狭間、食事の前後）」に多いことが分かる。



*は、レジデンス日進

「散歩」については、屋外での活動的な内容となることが多く、自然とリスクが高くなるプログラムである。ハイリスク＝活動の制限・縮小という短絡的な発想は持つべきではないが、日常的に提供しているプログラムとして、留意していきたい。「休憩・自由・プログラムの狭間」時間については、「作業」時間などと比べ、利用者の居場所や動きが不規則であると共に、トイレ介助などで職員が手薄になることも要因と考えられる。何をすることが明確でないことに起因するトラブルも想像され、環境の整備や個別の検討が必要と言える。

入浴時の報告は数こそ少ないが、てんかん発作で転倒し大怪我につながることもあり、十分注意したい。また、傷や衛生確認のためボディーチェックの大事な時間帯でもあり、着衣入浴介助のある利用者だけでなく注意が必要である。

● 支援現場での対応のあり方

報告された内容について、各施設でとった対応の内訳が下の表である。

対 応			
打ち合わせによる報告・周知		405 件	職員間で報告し、情報を共有することで、同じような事故を重ねて起こすことを防ぎ、重大な事故に至ることを予防する取り組みが基本となっている。具体的に物品を移動したり掲示による意識化、
環境整備	ハード改善(物品移動など)	7 件	
	マニュアル・システム変更	29 件	
	掲示による意識化	4 件	

利用者の配置を変えるなどのシステム変更による対応がなされた。

● 「ヒヤリハットニュース」と「ヒヤリハット ASP」

報告が一時的なものとならないよう、「ヒヤリハットニュース」を毎月発行して前月分の報告を集約した。合わせて、リスクマネージャーとしてのコメントや改善要請を各現場に対して行ってきた。

平成 17 年度に導入された、インターネットによるヒヤリハット ASP (アプリケーション・サービス・プロバイダー) システムによって、法人内の事故やリスクをいち早く共有できるようになった。各施設でリアルタイムに報告されることで、支援現場の事故防止に役立っている。

● 今後に向けて

リスクマネジメントは「情報の共有」が肝要である。ひとつのヒヤリ・ハット・事故データを、個人レベルに留めないのはもちろんのこと、支援現場内に留まらず、法人全体に周知することで同様のミスを防ぎ、解決策を相互に検討し合えるような環境整備が必要である。ミスを隠すのではなく、繰り返さないために積極的に情報提供するような発想を共通認識としなければ、リスクマネジメントは成立しない。ヒヤリハット ASP と共に利用者情報 ASP(フェイスシートの作成)の整理を進め、再発事故防止に努めたい。

2. 給食委員会

(1) 目的

利用者の健康管理・安全衛生管理の観点から給食サービスの内容をチェックし、委託業者との連携を密にし、法人全体の質の向上を目指す。

(2) 構成

各施設職員 1 名（法人栄養士を含む）

(3) 活動報告

毎月 1 回実施

(4/14、5/10、6/14、7/12、8/9、9/13、10/11、11/10、12/13、1/10、2/14、3/16)

- ・ 各月検食表チェック
- ・ 委託業者との折衝、交渉
- ・ 各施設での提供方法検討
- ・ 利用者の個別対応
- ・ 害虫駆除業者導入

3. グループホームミーティング

(1) 目的

2 箇所のグループホームの運営状況や課題を法人単位で把握・検討することにより、サービス内容の標準化や他施設との連携強化を目指す。

(2) 構成

各グループホーム管理者および世話人

(3) 活動報告

6/30 制度改革動向説明（グループホーム・ケアホーム）

各ホームからの報告

12/13 警報等発令時の確認

個別支援計画作成までのプロセス説明

利用者預かり金の確認

各ホームからの報告

1/24 アセスメント確認と個別支援計画作成

各ホームからの報告

3/8 アセスメント確認と個別支援計画作成

各ホームからの報告

天白ホームは 10 月に定員を 5 名に変更。9 名のホーム利用者のうち 6 名が法人内の施設に通所しており、連携した支援の強化に努めた。また、前年度に確認した、生活領域別の課題の把握を基に、個別支援計画を作成した。

今後も、支援現場のニーズに即したテーマ設定をし、グループホームの抱える課題を法人全体で考え、サポートできる体制を目指したい。

4. 法人ホームページ管理

平成 18 年 8 月に開設。主なコンテンツは次の通り。

【最新ニュースブロック】

法人の動きや各事業所のトピックス、また障害福祉関連の報道をリアルタイムで紹介。

【ようこそ名東福祉会のサイトへ】

名東福祉会の活動と障害者支援の問題についての報告を行う。講演録や、ケアマネ・問題行動への対処といったテーマ別提言等を掲載。

【名東福祉会の BLOG】

時事所感や障害者福祉への思い、また支援センターからの地域福祉にまつわる報告等。

その他、【高評価リンク】や法人各事業所情報を提供。

地域交流事業

名東福社会の運営する各事業所は、地域住民の皆さんにとっても価値の高い存在であることを目指しています。ボランティアの方々に留まらず、誰もが気軽に利用できる地域センター的な役割を担っていきたいと考えています。

1. イベント

(1) 法人主催講演会

4月19日(水)日進市民会館大ホールにて、「佐々木正美 子育て講演会」を開催。
約1,000名の聴衆のご来場をいただいた。講演録を法人ホームページに掲載。

地域支援フォーラム 2006 「優しい気持ちになりたい」

【講師】 佐々木 正美 氏 (川崎医療福祉大学 教授)

【主催】 社会福祉法人 名東福祉会

【共催】 日進市

【後援】 日進市教育委員会・日進市社会福祉協議会

名古屋市天白区社会福祉協議会・名東区社会福祉協議会

【収支】

収入

科目	金額(円)	備考
参加費	1,205,340	1,000円/人・手数料
計	1,205,340	

支出

科目	金額(円)	備考
講演料	100,000	
講師宿泊料	7,668	
講師交通費	30,000	
印刷代	184,590	ポスター・チラシ・チケット
デザイン謝礼	20,000	ポスター・チラシ
情報誌掲載料	50,000	ライブ新聞(日進)
郵送料	3,440	招待状
託児依頼費	45,600	ポコペンさん・ブランコさん
駐車場整理依頼費	4,725	シルバー人材センター
花束代	5,000	講師用
記念品	6,000	講師用(送料含む)
要約筆記・手話通訳謝礼	11,550	クッキー・湯のみセット(天白W)
消耗品	18,542	文具等
昼食代	24,800	講師・スタッフ用
社会福祉活動費	693,425	
計	1,205,340	

(2) 地域イベント（レジデンス日進）

地域に理解され、求められる施設として成長していくためには、地元とのつながりを広げて行くことは継続的な課題である。冬まつり（2/17）では、地元地区のお囃子やギター演奏で参加して頂いた。7/2、12/17は医療機関院長を中心にメンバー構成されたドクターズバンドの演奏などを行い、利用者も楽しむことができた。

地区主催の11/12にしん市民まつり、3/25 愛歩1周年記念バザーにも参加した。

2. 陶芸教室

● 出張陶芸教室（メイトウ・ワークス）

名古屋市厚生院（月1回）へ職員が利用者とともに出張し、陶芸を通じて高齢者との交流を図った。

● 地域陶芸教室（メイトウ・ワークス／天白ワークス）

地域の子ども会や保育園、高齢者などが施設内の陶芸室を利用。製作工程や作品へのアドバイスをを行う。

3. ボランティア受け入れ状況

利用者ひとりひとりのニーズに応じたサービスの提供を進めるため、地域ボランティアの受け入れを積極的に行った。より多くの方々に来所していただくことは、利用者との関わりは基より、地域に開かれた施設であるために必要不可欠であると考えている。

	活動内容	年間延人数
メイトウ・ワークス	作業やレクリエーション、イベントのサポート	280
天白ワークス	〃	423
はまなす	〃	122
レジデンス日進	ユニット内の清掃・イベントのサポート	400

4. その他

● 「ハローネットワーク」の発行（メイトウ・ワークス）

ボランティア情報誌として隔月 250部を発行。地域ボランティアの募集・法人施設の活動の紹介を目的としており、町内への回覧・地域店舗での掲示・来所ボランティアへの送付を行った。

● 施設の貸し出し（メイトウ・ワークス／レジデンス日進）

地域の町内会や子ども会、高齢者グループ、子育て世代の母親の勉強会を中心に、休業日や施設の空きスペースを開放。両施設合わせて年間延 115 団体が利用した。

● 実習学生等の受け入れ（メイトウ・ワークス／天白ワークス／はまなす）

各施設、中学校からの職場体験実習や大学からの介護体験、専門学校からの現場実習の受け入れを随時行った。

施設・事業所 一覧

社会福祉法人 名東福祉会 (昭和 56 年 8 月 認可)

法人事務センター 〒470-0124 日進市浅田町上納 58-4

TEL(052)805-1003 FAX(052)805-1004

法人ホームページ <http://www.meito.or.jp/modules/sections/>

種 別	名 称	住 所	電話番号	FAX 番号	E-mail
知的通所授産	メイトウ・ワークス	〒465-0055 名古屋市名東区勢子坊 2-1303	(052)702-2863	(052)701-2079	meitoworks@meito.or.jp
相談支援	名東区障害者地域 生活支援センター	同 上	同 上	同 上	同 上
知的通所授産	天白ワークス	〒468-0023 名古屋市天白区御前場町 327	(052)804-5487	(052)804-5416	tenpaku@meito.or.jp
知的通所更生	はまなす	〒465-0054 名古屋市名東区高針台 1-911	(052)704-7551	(052)704-7552	hamanasu@meito.or.jp
知的入所更生	レジデンス日進	〒470-0124 日進市浅田町上納 58-4	(052)805-1003	(052)805-1004	nissin@meito.or.jp
	法人事務センター	同 上	同 上	同 上	同 上
地域活動支援 センター	ハートフルアクト 日進	同 上	(052)805-1012	同 上	同 上
児童デイサー ビス	行動療育センター たけのこの家	〒470-0124 日進市浅田町上ノ山 14-3	(052)800-2203	(052)800-2204	ABA@meito.or.jp
知的グループ ホーム	こいけホーム	〒465-0047 名古屋市名東区小池町 468-1	(052)777-8385	(052)777-8385	koike-h@mocha.ocn.ne.jp
知的グループ ホーム	天白ホーム	〒468-0021 名古屋市天白区平針字大根ヶ越 141-3	(052)807-1578	(052)807-1578	tenpaku-h@muse.ocn.ne.jp

